

# いがらし 博文に 聞く



**Q** これからの富里市を、どうすべきと考えますか？

**A** 自主財源と社会保障の充実

市町村合併が見送られた以上、一刻も早く自立しなければなりません。国も地域主権を求めており、このまま進んだ場合、地域間競争へと流れ、結果、地域格差が生じる事も考えられます。そのためにも、地場産業である「農商工」の底上げをすべき政策と、生活に直結する社会保障の充実が自立の一步であり、成長への道筋に繋がっていくと思います。

**Q** 安定した自主財源は、地場産業の底上げという事ですか？

**A** 成長の鍵は、地場産業

安定した自主財源の確保こそ、富里市の自立と成長であり、そして、市民の負担軽減に繋がると思います。そのためには、富里市の歴史を支えてきた農業、高度成長期を支えた小規模零細企業の底上げが重要かと思えます。農業は、組合と農家、小規模零細企業は、商工会と事業主といった構図では、限界があります。やはり、政治と行政が後押し、いや、引っ張る役割をすべきと考えます。

**Q** 底上げするには、どうすべきと考えますか？

**A** 政治と行政の積極化

全てに共通することは、地元消費の向上です。地元消費なくして、市外への発信効果は望めないと思っています。農業に関しては、富里市は、千葉県の中で13品目の生産量のうち、実に9品目がベスト10以内に入っています。

つまり、全国に誇れる農業なのです。だからこそ、富里ブランドの確立は絶対に必要な事です。また、計画的雇用の確保や後継者育成の体制づくり、新規就農者の確保も積極的に考えるべきだと思います。

また、商店に関しては、「小規模零細企業こそ町の番人」「小規模零細企業こそ町の顔」となっているまちには活気があります。商工会や商店会と政治・行政が連携をし、活性化ビジョンを作成し真剣に取り組む事が必要です。

そして建設業等については、成長する機会が少なすぎます。やはり、市の発注形態も考え、育成すべき場の創出が必要だと考えます。地元の発注は地元業者でという道筋をしっかりと築く事だと思いますし、底上げが出来る事で、自ずと市内雇用の拡大にも繋がると考えます。地場産業の底上げには、行政・政治が積極的に関与し、またはリーダーとして行う事が必要だと思います。

**Q** 今、少子高齢化と言われているんですが？

**A** まちの質は少子高齢化対策

人が生きる過程の育児・教育・健康・福祉・介護など充実している当たり前の事だと思います。富里市には駅がありません。「駅がない」のではなく、「駅がなくとも」と市民に感じてもらう事が必要だと思います。「駅がなくとも社会保障が充実して安心。」そのためにも、医療費助成等の各種助成の拡大や待機児童ゼロ、教育環境の整備やスクールバスの運行。そして健康増進、介護制度の充実をはじめ、公的ヘルパーの導入や支えあい事業の充実、循環バスの駅乗り入れなど更に取り組む事が必要と考えます。

**Q** 羽田空港の国際化や酒々井インターチェンジの設置については？

**A** ゲートウェイとしての責任と成長

羽田と成田の共栄と言っていますが、成田国際空港の将来には不安はあります。でも、羽田と成田には大きな違いが一つあるのです。それは、成田は9市町村が補完しているということです。空港都市圏として、9市町村が、最大限に特色をいかすとともに、役割と目標を明確にし、共に進むことが必要不可欠と考えます。そして、富里市は、成田空港のゲートウェイに位置するので、9市町村に対しても重要な役割を持っていると思います。時には、富里市のリーダーシップが必要ははずです。

9市町村が綱引きをするのではなく、成田国際空港を核に共栄しあう事が、真の空港都市圏の構築であり、成田空港の更なる発展、市町村の更なる成長に繋がると思います。

また、酒々井インターチェンジの設置は、酒々井町にとって、隣接地の土地活用と合わせ、今後の町の将来を大きく左右する事業となりました。富里市にとっても、国道409号の慢性的渋滞緩和や、第一小学校からのバイパス整備と、大きく変わっていきませんが、一方で、富里インターの活用や周辺のまちづくりはどうなっていくのか、どれだけの費用対効果が生まれるのかと不安もあります。

その為にも、あらたな市街地の拡大などによる、富里インター周辺との連携も考え、酒々井町とともに更なる成長を考えるべきだと思います。

**Q** 他に意見はありませんか？

**A** スピードある対策と市民税減税

各地域には、まだまだ課題が残されています。今や時代の速さと同様にスピードある対策が求められていますので、第二第三の施策転換も含め、一刻も早く対応をすべきと思います。また、激動する社会の中で、まちづくりの根底は揺るがずとも、時代の流れを常に見極めた都市計画が必要である事からも、積極的な見直しも必要であると考えます。そして自主財源の安定、社会保障の充実、計画的投資の健全化を目指し、市民税の減額に繋がっていきたくと考えます。

**Q** 最後に一言お願いします

**A** 富里市は誇り

富里市に生まれ育ったことに誇りを持っています。今後は、私たちがしっかりと次世代につなげる番だと責任を感じています。あと僕はよく「鮪」のようにいつも動いていると言われます。でも、富里市のための鮪になれたなら、本望です。そして、市民からの「ありがとう」の一言が本当に幸せな時なのです。だからこそ、今後も頑張っていきます。